

**2024年3月期**  
**第2四半期 決算説明会資料**

2023年10月26日

**栄研化学株式会社**  
(証券コード: 4549)

1. 2024年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期 業績予想と重点施策
3. サステナビリティ

# 2024年3月期 第2四半期決算概要

# ■ 2024年3月期 第2四半期累計 連結業績

(百万円)

(百万円)

## 2024年3月期 第2四半期(累計)

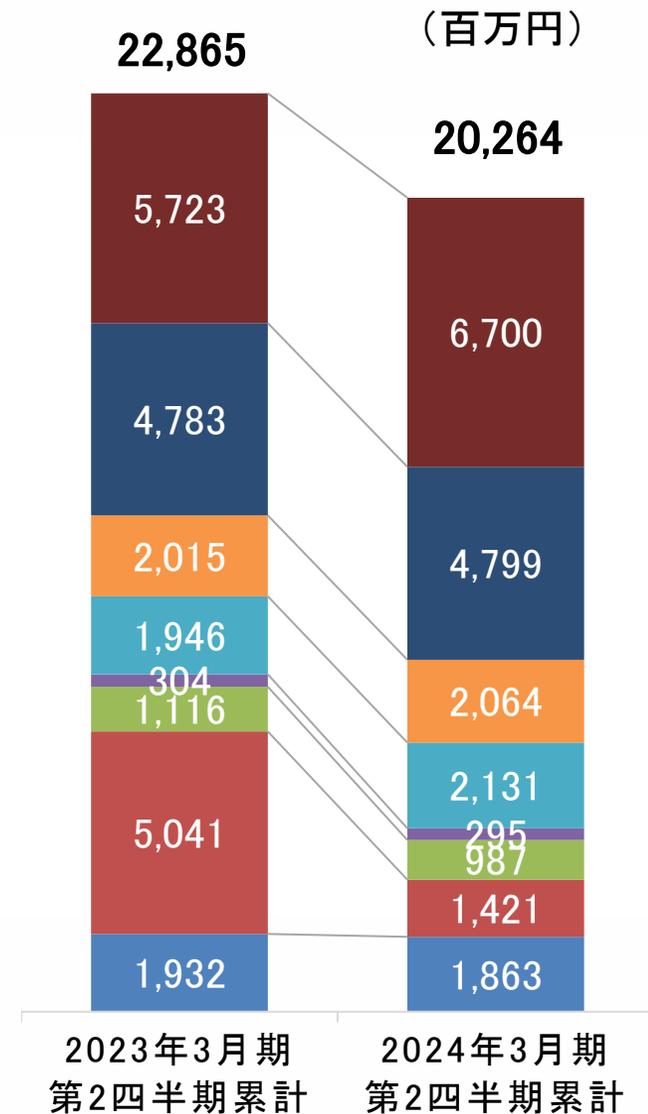
	実績	構成比	対前年同期増減		対予算	
売上高	20,264	100.0%	△ 2,601	88.6%	△ 736	96.5%
（うち海外向け売上高）	5,233	25.8%	821	118.6%	86	101.7%
売上総利益	8,639	42.6%	△ 2,773	75.7%	△ 781	91.7%
販売費及び一般管理費	6,490	32.0%	734	112.8%	0	100.0%
営業利益	2,148	10.6%	△ 3,508	38.0%	△ 782	73.3%
経常利益	2,225	11.0%	△ 3,495	38.9%	△ 715	75.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,618	8.0%	△ 2,702	37.5%	△ 632	71.9%

- 売上高は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類移行により遺伝子検査需要が減少し、LAMP法を用いた新型コロナウイルス遺伝子検査試薬の売上が大きく減少
- 利益面では高利益品目である新型コロナ検査試薬の売上やLAMP法の特許料収入の減少、および営業活動活発化に伴う経費、新研究棟稼働による償却費や委託研究費など販管費の増加により減益
- 予算対比は、主に期初の想定以上に新型コロナの遺伝子検査需要が限定的となり差異が拡大



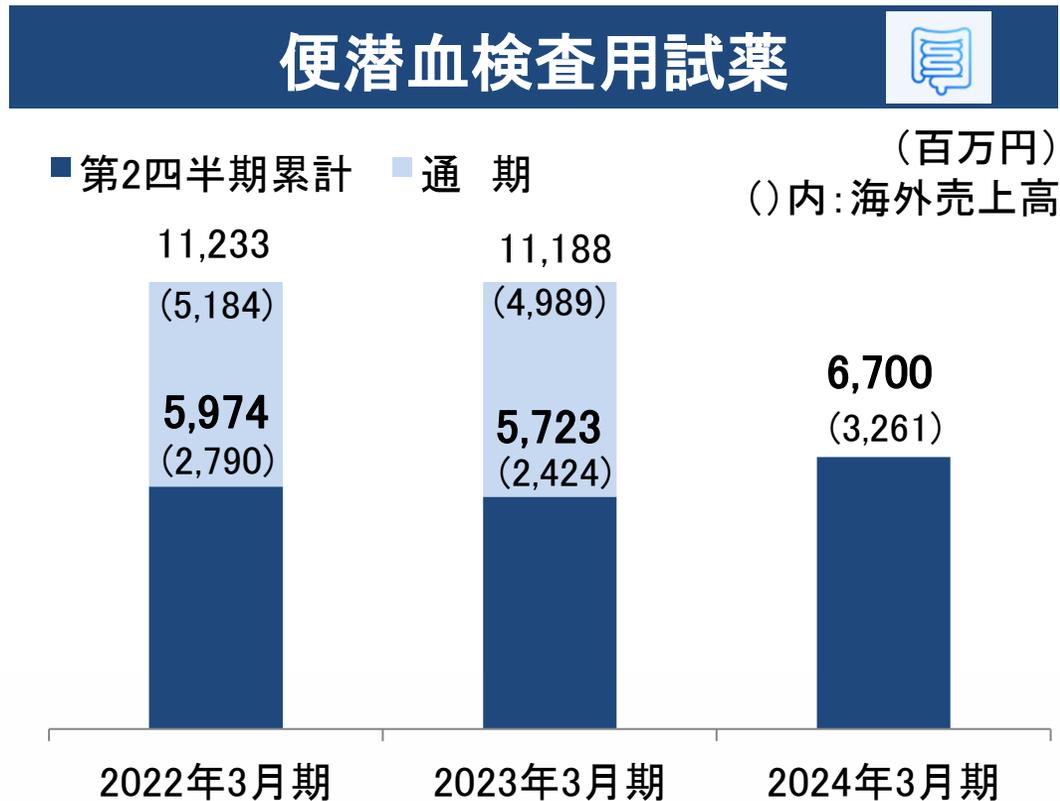
# ■セグメント別売上高

	(百万円)		
	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比
便潜血検査用試薬	5,723	6,700	117.1%
免疫血清検査用試薬 (便潜血検査用試薬除く)	4,783	4,799	100.3%
尿検査用試薬	2,015	2,064	102.4%
微生物検査用試薬	1,946	2,131	109.5%
生化学検査用試薬	304	295	96.8%
器具・食品環境関連培地	1,116	987	88.4%
遺伝子関連(装置含む)	5,041	1,421	28.2%
医療機器関連(遺伝子以外)・ その他	1,932	1,863	96.4%
合計	22,865	20,264	88.6%



# ■セグメント別売上高 — 便潜血検査用試薬

- 国内検診市場は回復
- 海外主要各国に於けるスクリーニングプログラムが順調に推移



大腸がんのスクリーニング検査(一次検査)に使用される検査用試薬  
国内トップシェア※

※富士経済

## グローバルでの FIT※市場拡大の構造的要因

- 内視鏡医不足に伴う検査キャパシティ不足  
➡内視鏡トリアージとしてのFIT活用
- FITの費用対効果の高さへの評価  
(各国ガイドライン収載、論文掲載)  
➡化学法から免疫法への切り替え加速  
➡受診開始年齢の引き下げ(米・英など)
- 新興国における検診(健診)の普及

※FIT: 免疫法便潜血検査



EIKEN CHEMICAL CO., LTD.

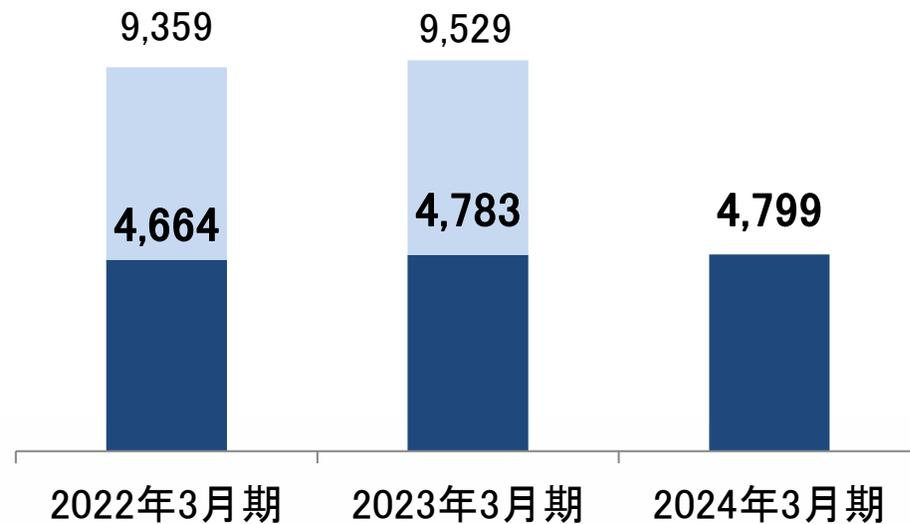
# ■ セグメント別売上高 — 免疫血清検査用試薬・尿検査用試薬

## 免疫血清検査用試薬



- 病院市場は回復

■ 第2四半期累計 ■ 通 期 (百万円)



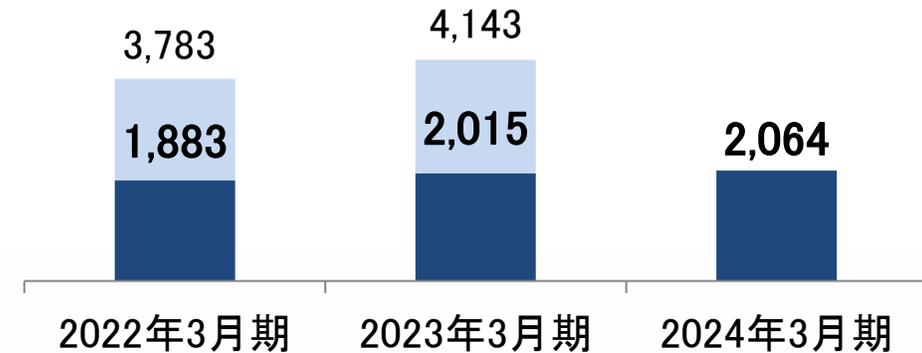
感染症やホルモンの測定、胃がんリスク層別化検査などに使用する各種検査用試薬

## 尿検査用試薬



- 病院市場、検診市場ともに回復
- 海外は計画通りに推移

■ 第2四半期累計 ■ 通 期 (百万円)



多項目の検査を行うことができる尿検査用試験紙など各種検査用試薬 国内トップシェア※

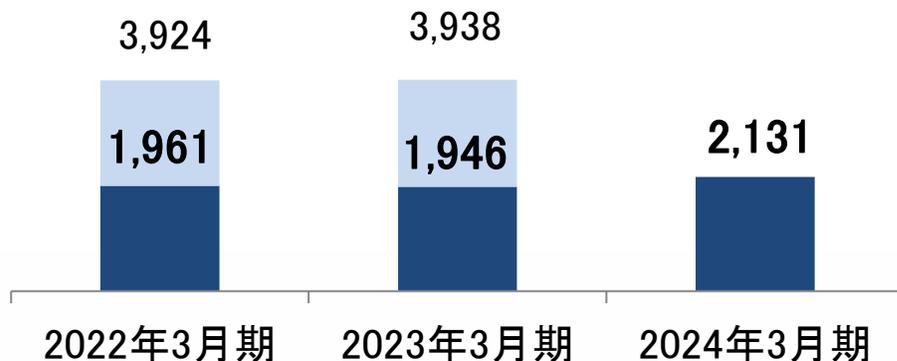
# ■ セグメント別売上高 — 微生物検査用試薬・遺伝子関連(装置含む)

## 微生物検査用試薬



- 新型コロナ以外の感染症増加により、迅速診断キット・感受性検査が回復

■ 第2四半期累計 ■ 通 期 (百万円)



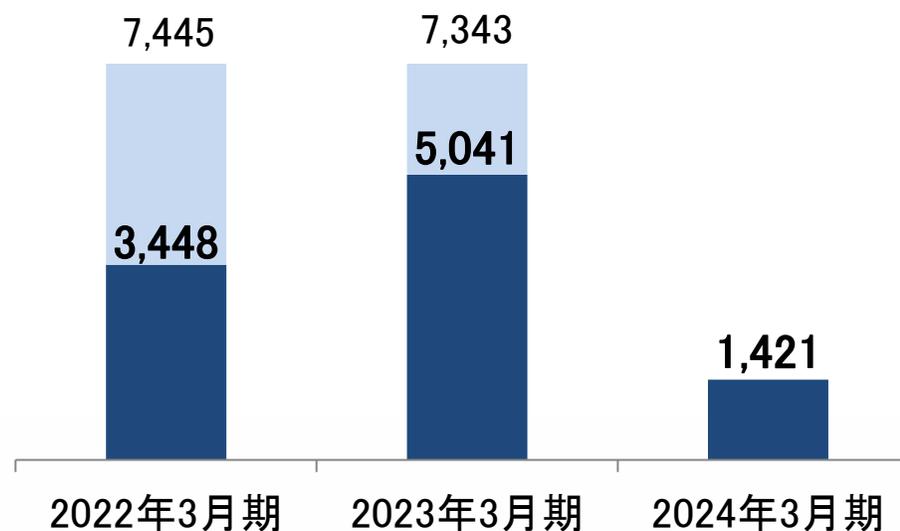
培地、迅速検査用試薬など微生物感染症の診断・治療に有用な各種検査用試薬

## 遺伝子関連(装置含む)



- 新型コロナ検査数の減少
- 特許料収入：205百万円  
(前年同期実績：1,305百万円)

■ 第2四半期累計 ■ 通 期 (百万円)



LAMP法を用いた、幅広い分野に展開する遺伝検査関連製品



# ■ 海外向け売上高

(百万円)

## 【欧州】

- 主要各国でのスクリーニングプログラムが順調に推移しFIT※1試薬増収
- イングランドでの対象年齢拡大による検査数の増加
- 開発途上国向けのLAMP試薬が増収※2

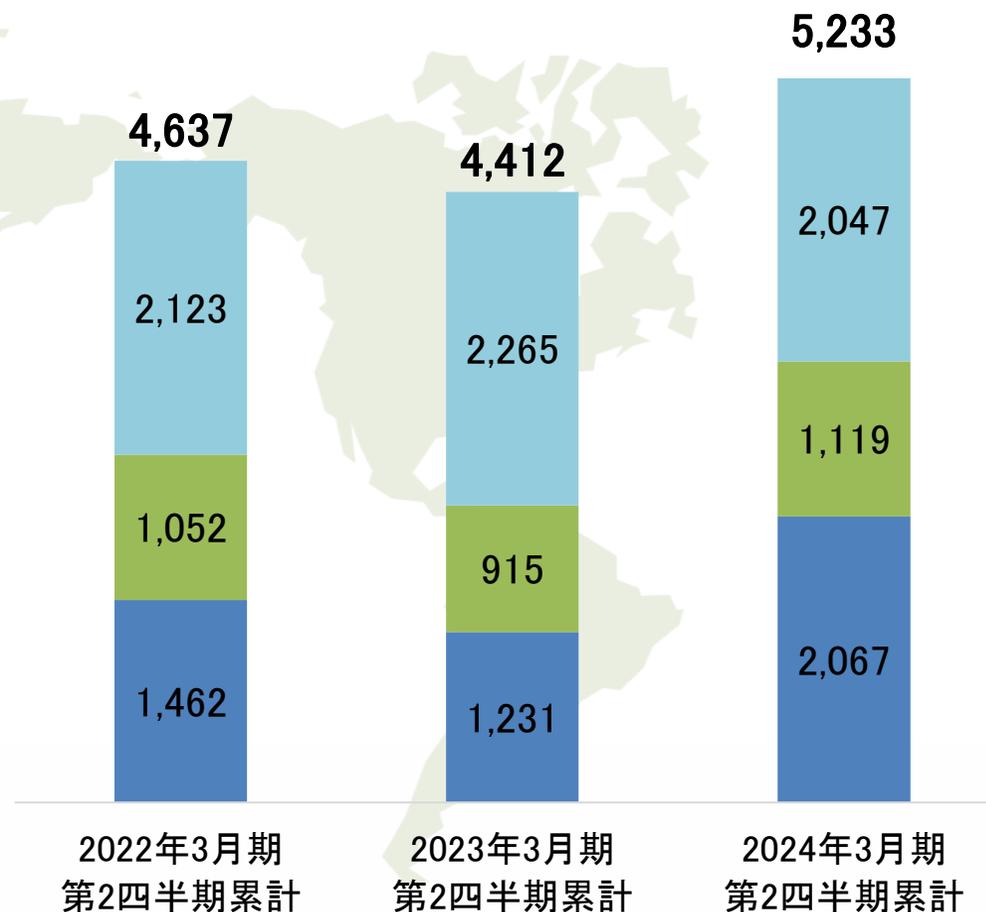
## 【北米】(全てFITについて)

- 郵送・WEB検診事業が順調に推移
- 化学法使用施設への郵送検診による切替工作継続
- 受診年齢引き下げ、保険会社への拡販継続
- 有症状者の内視鏡トリアージのWEB検診の推奨継続

## 【アジア・オセアニア・その他】

- FIT試薬はオーストラリア、韓国で順調に推移し増収
- 尿検査関連製品の販売が受発注のタイミングにより減少※3

■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア・オセアニア・その他



※1 FIT: 免疫法便潜血検査

※2 開発途上国向けLAMP製品の売上は欧州(代理店)に含む

※3 海外向け尿検査用試薬(シスメックス(株)との提携)の売上はすべてアジア地域に含む



EIKEN CHEMICAL CO., LTD.

# 2024年3月期 業績予想と重点施策

# 2024年3月期 連結業績予想

(百万円)

## 2024年3月期 通期連結業績予想

	金額	構成比	対前期比(%)
売上高	42,000	100.0%	97.1%
（うち海外向け売上高）	10,270	24.5%	116.7%
売上総利益	18,750	44.6%	91.4%
販売費及び一般管理費	13,370	31.8%	102.5%
営業利益	5,380	12.8%	72.1%
経常利益	5,400	12.9%	71.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,250	10.1%	74.1%

(百万円)

## 通期進捗状況

2Q累計実績	進捗率
20,264	48.2%
5,233	51.0%
8,639	46.1%
6,490	48.5%
2,148	39.9%
2,225	41.2%
1,618	38.1%

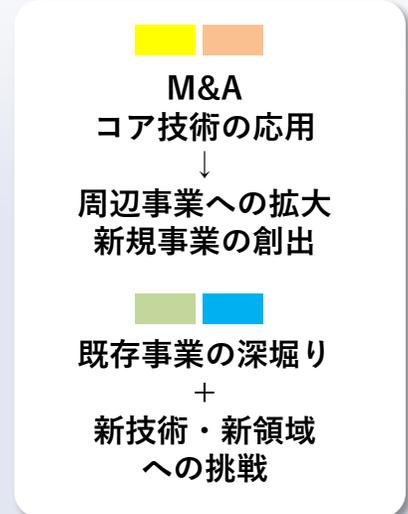
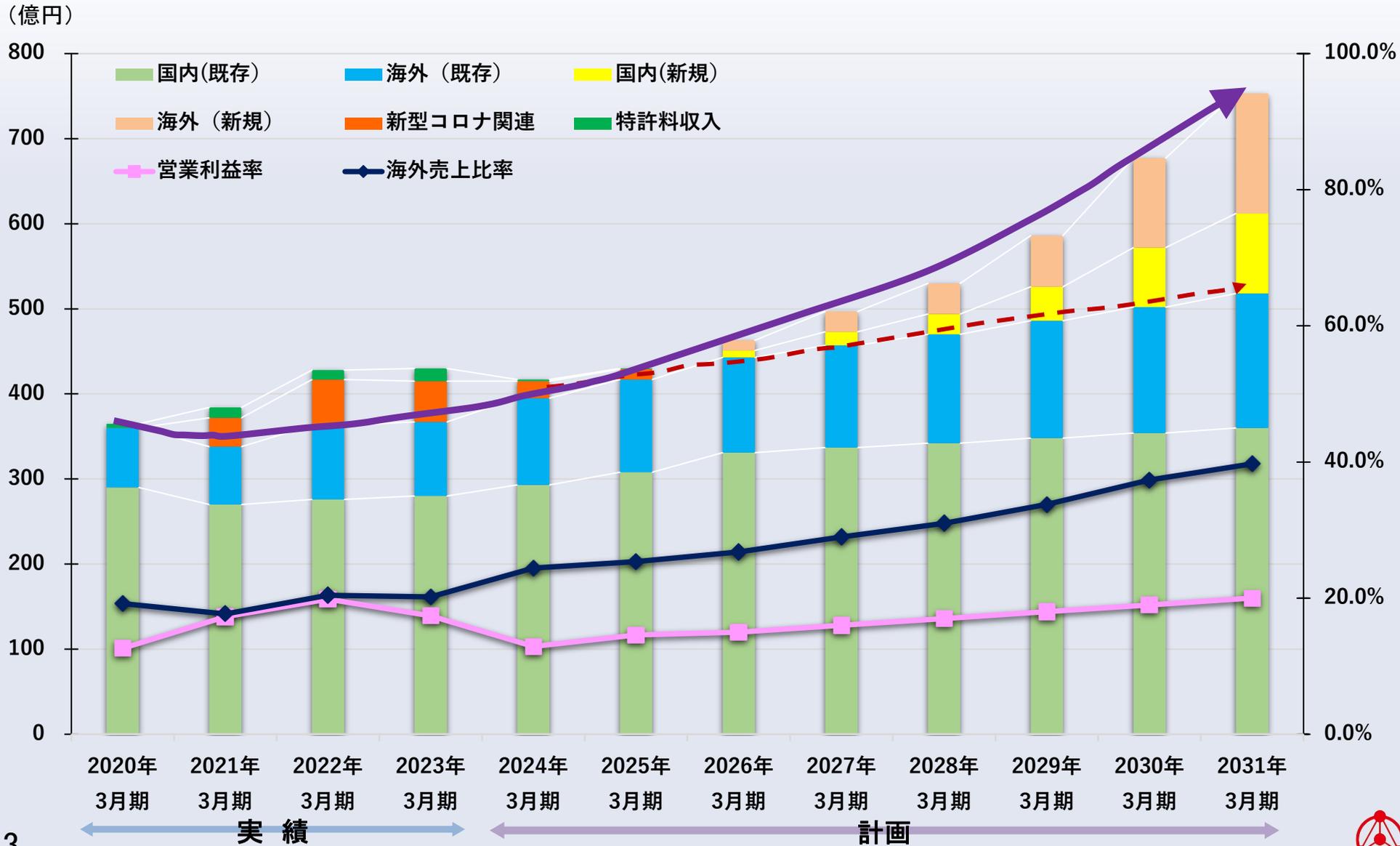
\* 2023年4月28日発表

## ■現時点の期初想定との差異、今後の見通しと対策

	期初想定	期初想定との差異	今後の見通しと対策
新型コロナ 遺伝子検査	感染症法改定後も病院市場(術前・入院前検査)で一定数の遺伝子検査が残る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院市場での新型コロナ需要が下回る</li> <li>・遺伝子検査から簡易迅速検査(イムノクロマト法)に移行した医療施設が想定以上に増加</li> </ul>	見通し: 遺伝子検査需要は現在の状況が継続 対策: その他感染症関連製品の販促に注力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高感度イムノクロマトシステム(コロナ・インフル)</li> <li>・コロナ以外のイムノクロマト新製品</li> <li>・海外TB-LAMP新規受注の獲得</li> </ul>
便潜血検査	<b>【国内】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍前の水準まで需要回復、他社より切り替え</li> </ul> <b>【海外】</b> ①試薬の一時的な在庫調整の解消 ②便潜血検査の需要拡大	<b>【国内】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体不足による装置納入遅延の影響で、他社切り替え工作の一部遅延(検査需要は想定範囲内)</li> </ul> <b>【海外】</b> ①想定通り ②想定を上回る進捗	<b>【国内】</b> 見通し: 検査需要および装置納入遅延は現在の状況が継続 対策: 安定在庫の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大腸がん検診受診率向上へ向け、健診施設に対する啓発強化</li> </ul> <b>【海外】</b> 見通し: 現在の好調が継続
収益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロダクトミックスの変化による原価率上昇</li> <li>・資源高等によるコスト増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定を上回るプロダクトミックスの変化による原価率上昇</li> </ul>	見通し: <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロダクトミックスは上期構成が継続</li> <li>・予算外の費用の想定はなし</li> </ul> 対策: <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の効率的な使用</li> <li>・検査器具の改廃・値上</li> <li>・主要製品の原価低減策の実行</li> </ul>

## 通期業績予想は前回発表を据え置く

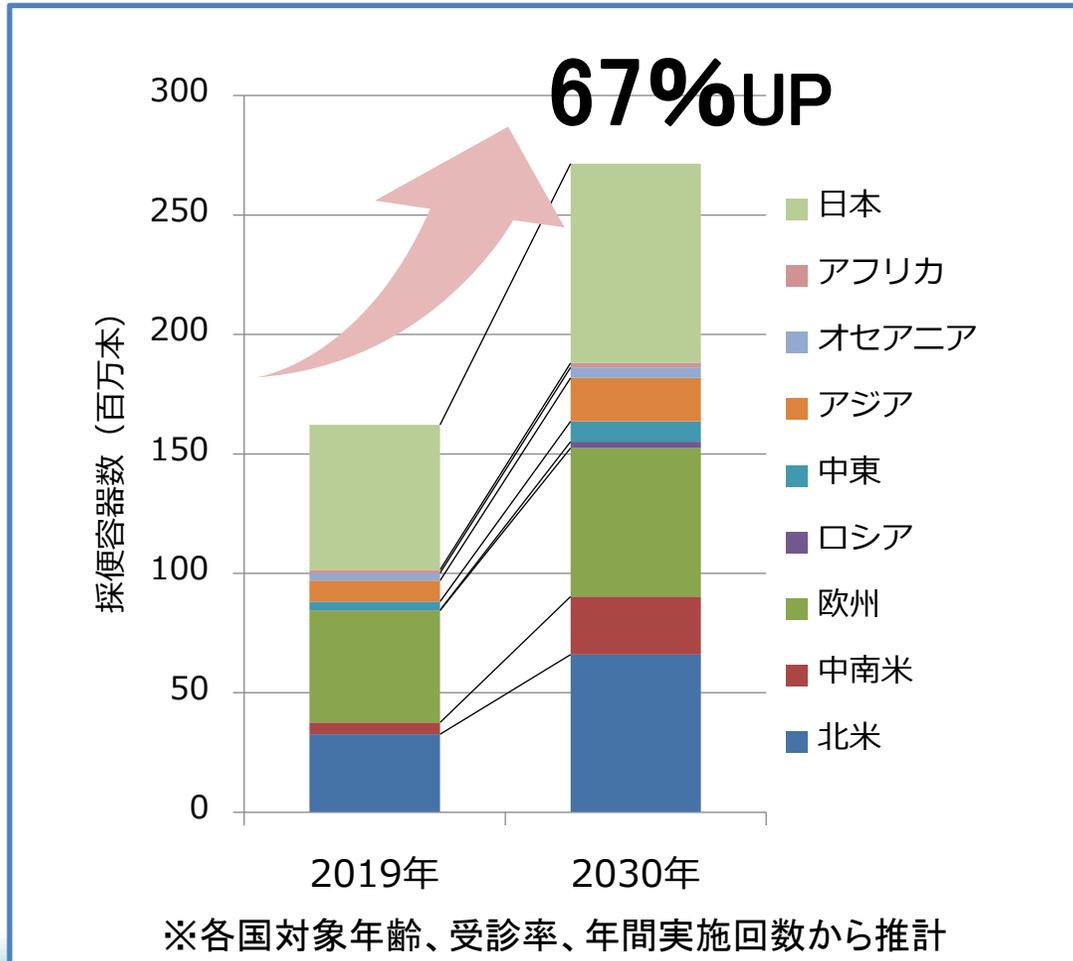
# 2030年度のありたい姿に向かって持続的かつ揺るぎない成長を目指す



- ▶ 近年新型コロナ関連需要のような一時的要因はあったものの、EIKEN ROAD MAP 2030の成長曲線に乗り持続的に成長
- ▶ 事業ポートフォリオの見直しを進め、他社との提携、共同開発、M&Aなど新たな事業を加えて収益拡大を図りながら計画達成を目指す

# 重点施策 便潜血検査① 潜在市場と成長戦略

## FIT市場の可能性



便潜血検査の  
需要増加

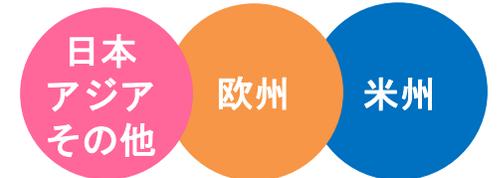
各国がん検診受診率向上の取組

大腸がん検診導入国の増加

がん検診対象人口の増加  
(受診対象年齢の引き下げ)

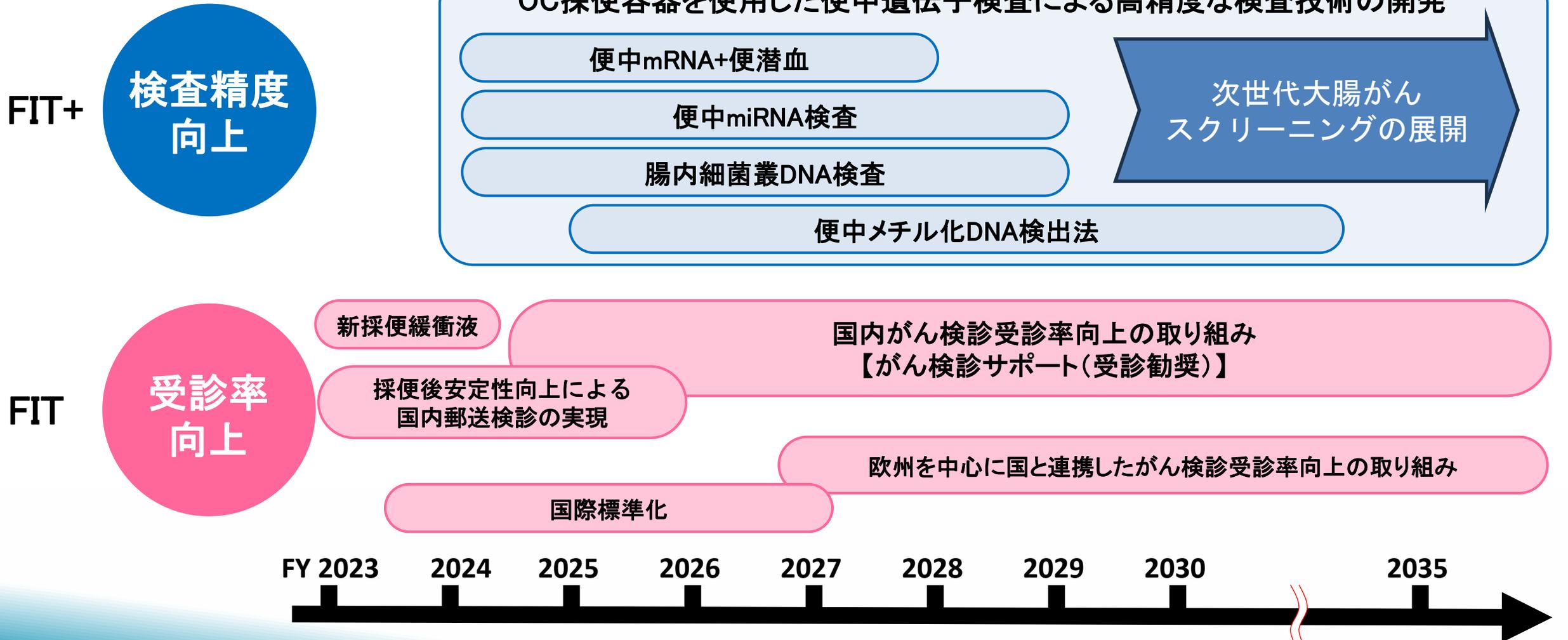
## 成長戦略

- 国際標準化の推進
- 大腸がん検診未採用国への日本式大腸がん検診の普及促進  
⇒2022年度 44か国 → 2030年度KPI 57か国
- 国と連携したがん検診受診率向上の取り組み  
(がん検診サポート：受診勧奨)
- 高精度な検査技術(FIT+)による内視鏡検査対象者の絞り込み
- 2024年米国拠点の設置**による国への働きかけ強化と潜在市場の掘り起こし
- 採便容器の性能向上とホームアクセスの確立

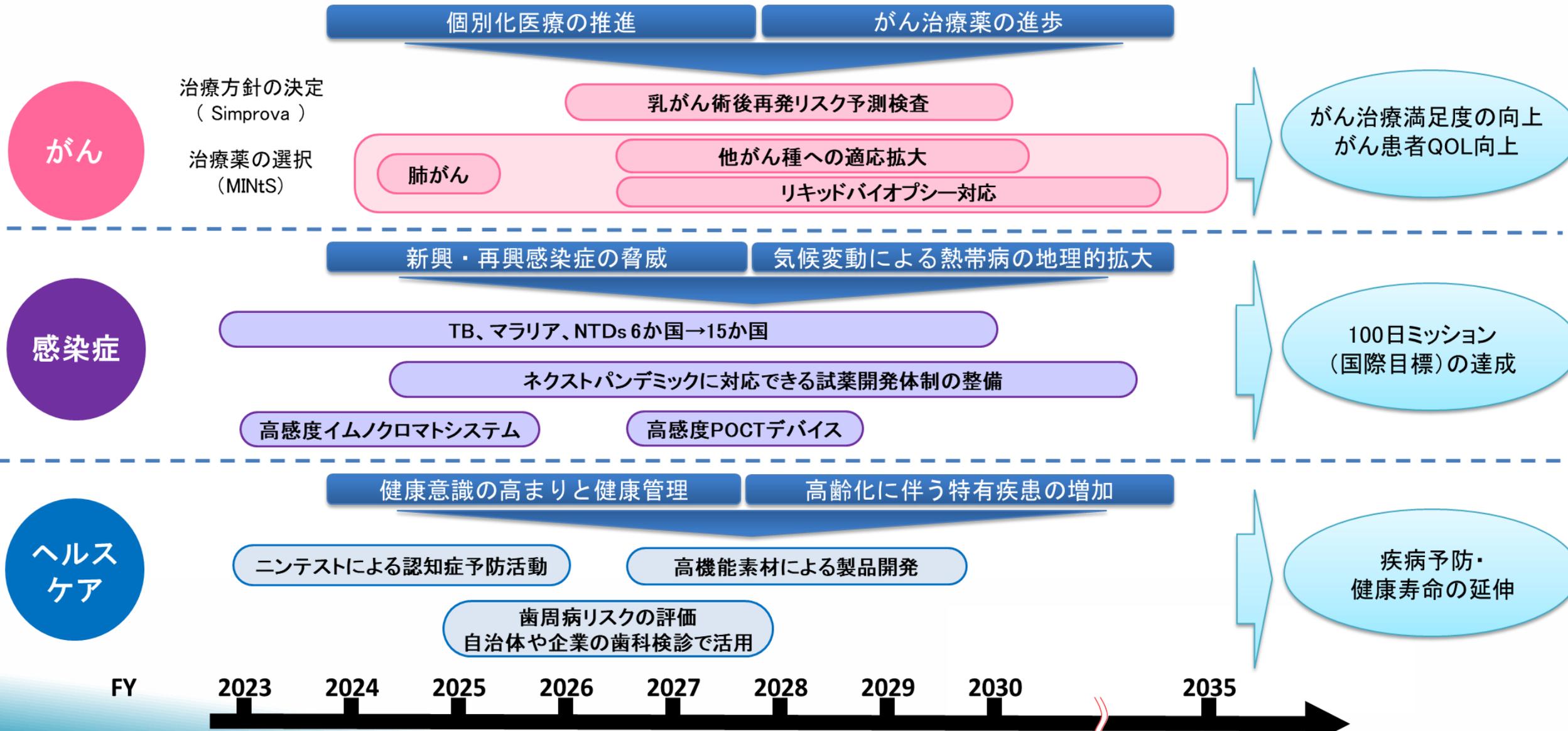


# 重点施策 便潜血検査② 成長戦略に基づく具体的な取り組み

FITの実績・圧倒的シェアを活かし、国際標準化・新技術で付加価値を高め、新たな顧客獲得



# 重点施策 注力分野の成長戦略



## 2024年3月期 配当予想

### 株主還元方針

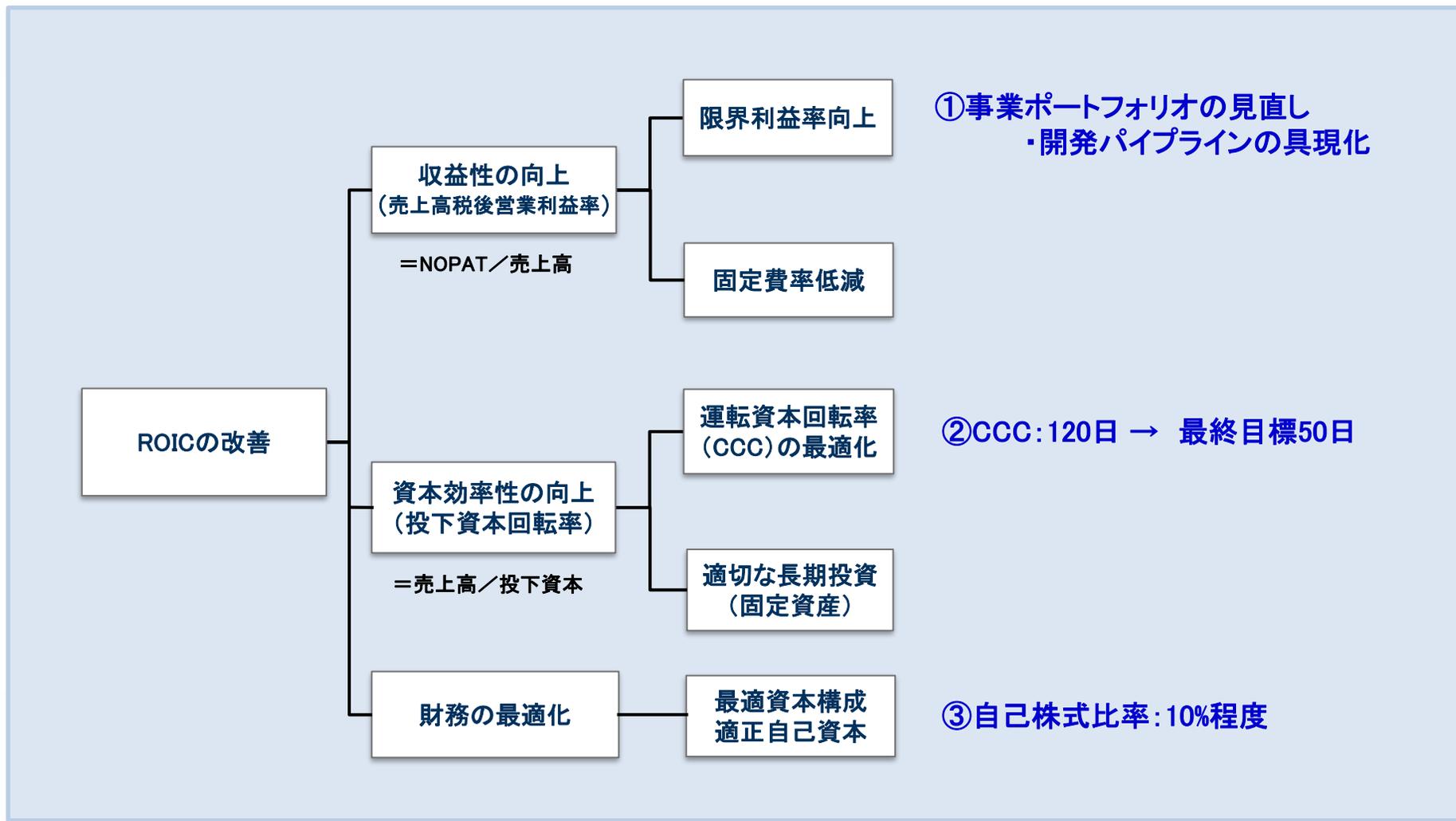
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

具体的には連結配当性向30%以上を目標としております。

(円)

配当予想	中間配当実績	期末配当	年間	配当性向
	25	26	51	44.4%

# ■ 主要指標改善への取り組み



## ■ 自己株式の消却

### 自己株式の消却に係る事項を決議（2023年10月26日）

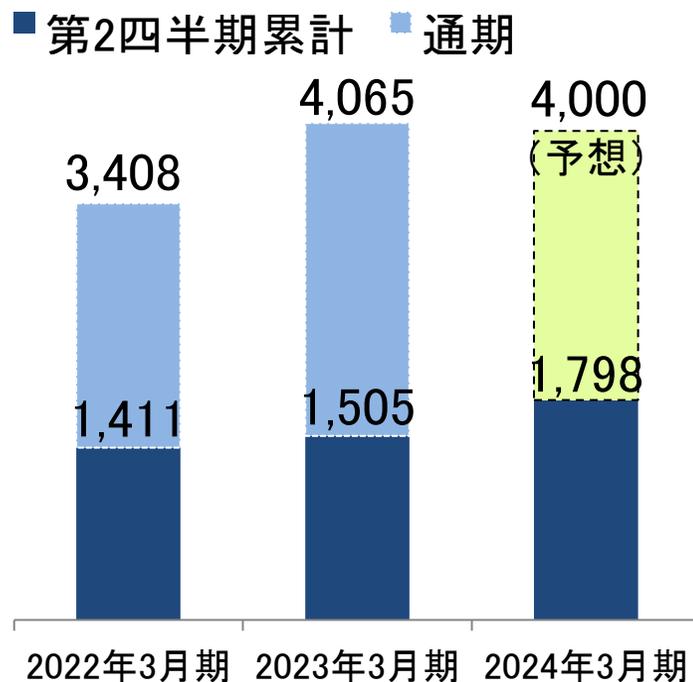
- 消却対象株式の種類：普通株式
- 消却する株式の総数：上限 500万株
- 消却予定日：2023年11月30日
- 消却の目的：自己株式保有比率の適正化



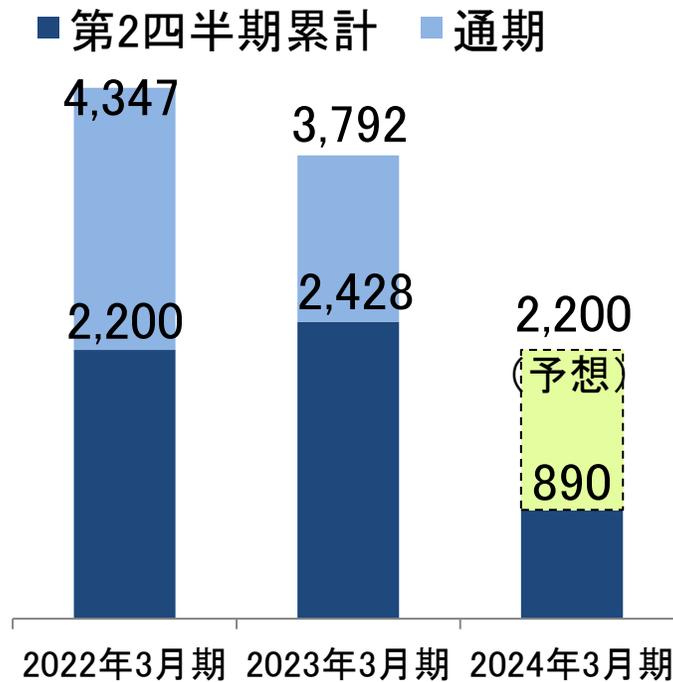
# ■ 研究開発費・設備投資・減価償却費

(百万円)

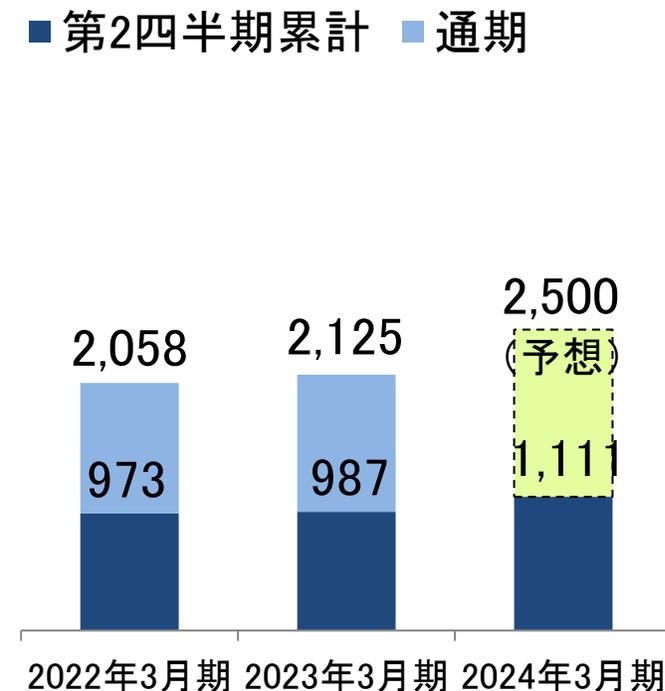
## 研究開発費



## 設備投資



## 減価償却費



- 研究開発費は主に各種装置の開発費用、委託研究費・共同研究費
- 設備投資は主に既存研究棟改修費用、尿検査用試薬製造設備増強費用
- 減価償却費は主に新研究棟関連の償却費

# サステナビリティ

# ■ サステナビリティ経営の推進

## 地球環境と調和した事業活動

- 気候変動への対応
- 循環型社会への貢献



## 人を活かした活力ある企業

- 人権・多様性の尊重
- 従業員エンゲージメントと人財育成
- 健康増進・安全衛生



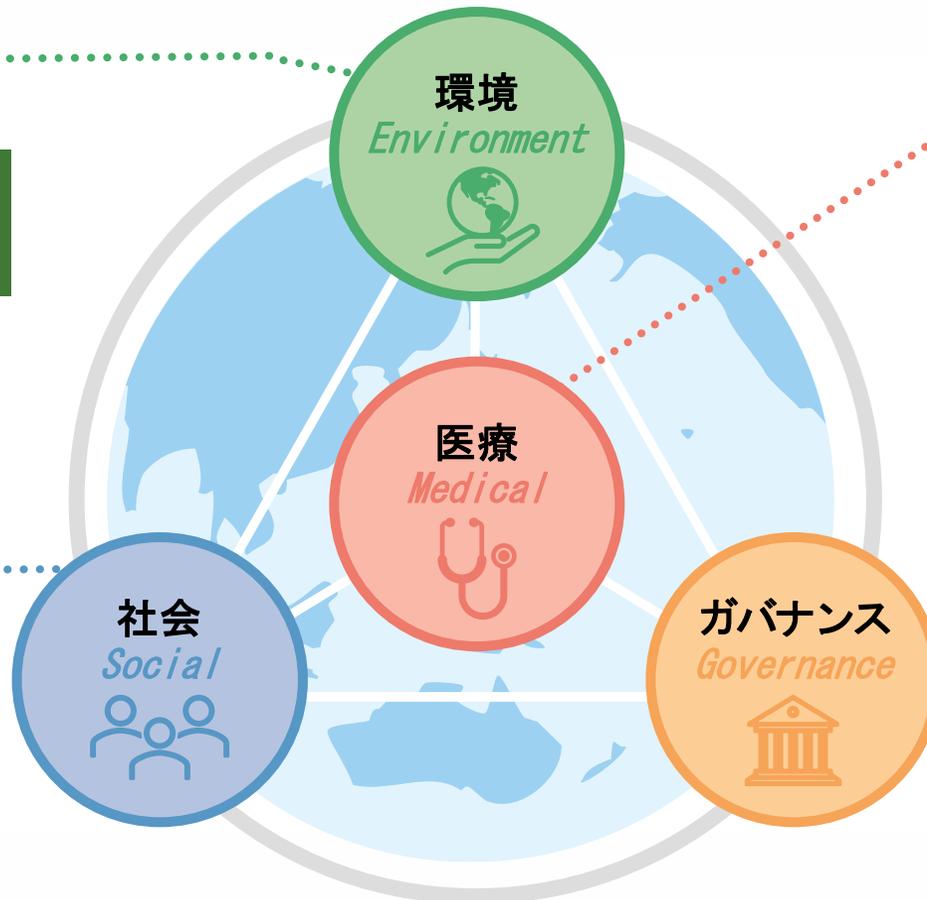
## 世界中の人々の健康で豊かな生活への貢献

- 医療へのアクセス向上
- 医療課題の解決
- 品質の追求と持続可能なサプライチェーン



## 持続的成長を支える組織基盤

- 透明で健全なガバナンスの実現
- コンプライアンスと腐敗防止の徹底
- リスクマネジメントの確立



サステナビリティ: <https://www.eiken.co.jp/sustainability/>

マテリアリティとKPI一覧表: [https://www.eiken.co.jp/uploads/Materialities&KPIs\\_230720jp.pdf](https://www.eiken.co.jp/uploads/Materialities&KPIs_230720jp.pdf)

## ■トピックス 社外からの評価およびイニシアチブへの参加等

### ■ ESGインデックスへの組み入れ

GPIFが日本株投資にて採用する各種インデックスに選定。

- ・ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- ・ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- ・ Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



### ■ イニシアチブへの賛同・署名



NTDs※制圧「キガリ宣言」

### 第三者評価・認証・表彰



レジリエンス認証  
事業継続および社会貢献  
認証・登録番号 E0000044



2023  
健康経営優良法人  
Health and productivity



### ■ 当社初の統合報告書を公開

「栄研化学 統合報告書 2023」

<https://www.eiken.co.jp/ir/integrated>



EIKEN CHEMICAL CO.,LTD.

# Saving Your Health

世界的な臨床検査薬企業として、人々の健康を守り続ける

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。



# Appendix

# 厚生労働省の「歯周病等スクリーニングツール開発支援事業」

健康寿命の延伸のためには、口腔の健康の保持・推進を図ることが重要

## <課題>

- ・ 現行制度における歯科健診の受診率が低い。
- ・ 歯周病の罹患率の高さに対する改善が必要。

受診率は全国  
平均**5.0%**※1

罹患率  
15歳以上の**50%以上**  
35～70歳の**70%以上**※2

## <当社の取り組み(課題への対策)>

### 「歯周病リスク評価ツール」の開発

- **唾液中のヘモグロビンを簡易測定**できるスクリーニングツール
- 歯周病原細菌由来成分に対する**血中抗体価測定試薬**

支援事業者に  
**採択**

※1厚生労働省 平成28年歯科疾患実態調査より

※2令和3年度歯科口腔保健医療情報収集・分析等推進事業より



# “歯周病セルフチェックツール – 唾液ヘモグロビンキット – ” の開発

歯科受診が必要な受診者に、結果の**効果的なフィードバック**が可能な“歯周病セルフチェックツール”を開発する。

→ **行動変容(歯科の受診予約)**を起こさせるようなフィードバック



図説:

自宅、あるいは歯科健診会場にて、唾液ヘモグロビンキットを用いて検査を行う。**その場で結果が分かる**ため、その結果に基づき、受検者(検査を受けた人)は、**歯科予約・歯科受診(行動変容)を起こす**。

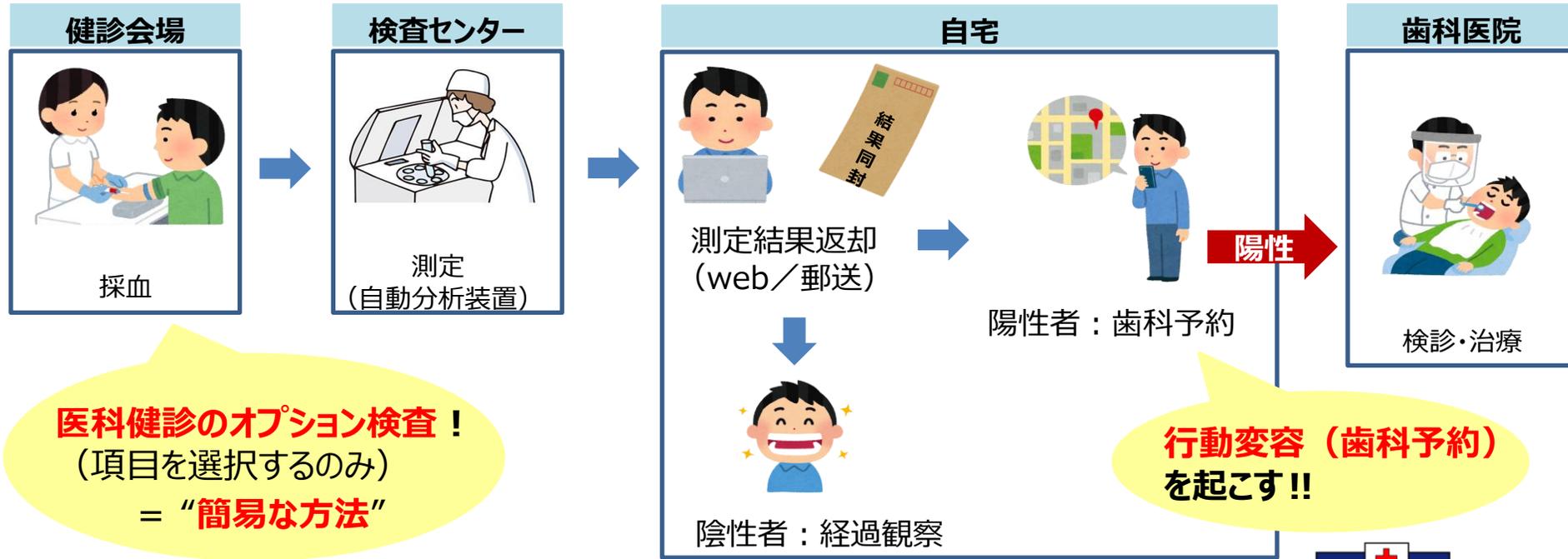
唾液ヘモグロビンキット:

ポータブル分析装置や迅速診断キットなどを用いて、唾液中のヘモグロビンを検出するキット。**健診会場での結果のリターンが可能**。将来的には、簡易キットの特性を生かして、薬局で購入可能な OTC 製品としての提供も目指す。

# “歯周病セルフチェックツール – 血中抗体価測定試薬 – ”の開発

地方公共団体や職域等で実施する歯科健診において活用することを想定した“**簡易な方法**”を開発する。

→ 医科健診のオプション検査として提供



図説:

医科健診で採取した血液の一部(一滴程度)を用いて、歯周病原細菌由来成分に対する血中抗体価測定試薬にて検査を行う。その結果に基づき、受検者(検査を受けた人)は、歯科予約・歯科受診(行動変容)を起こす。

血中抗体価測定試薬： 歯周病原細菌が産生するタンパク質分解酵素に対する血中抗体価を測定する試薬

